月日会会報

発行所
都立田園調布高等学校
同窓会　月日会
東京都大田区田園調布南27-1
発行人　鍵和田幹夫
編集責任者　小西正晃

おもな内容

● 来年11月月日会60周年記念総会を開催
● 月日会新名簿の申し込みを　受け付けます
● 月日会60周年に向けて役員新体制

これからも走り続ける月日会

月日会　会長（19期）　鍵和田　幹夫

はじめに、東日本大震災で被害にあわれた皆様におかれましては、心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

昨年10月に田中博隆氏の後を引継ぎ第9代会長に就任してからこれまで、田中名誉会長が担われてきた会長職の重責を感じる日々でした。しかしながら、幹事ならびに会員の皆様に支えられ何とかここまでくることができました。ありがとうございます。

さて、月日会も来年は「60周年記念総会」を開催することとなりました。総会の場では、多くの会員の皆さまと直接お会いできることと、今から楽しみにしております。

また、詳細は同封した別紙をご覧いただきたいと思いますが、会員名簿の発行も計画しています。

一万五千名余となった会員の皆様への新鮮な情報の発信、様々な活動により会員相互のコミュニケーションを活性化し、月日会を皆様により身近なものとしていきたいと考えております。そのためにも、これらの事業に全力で取り組んでまいります。皆様のご協力をお願い申し上げます。

あわせて、本年度も年会費の納入やぼろにあ祭等諸活動への参加も引き続きお願いいたします。

追伸：これから同期会やOB会を計画されている場合にはご一報ください。できる限り参加し、月日会の活動についてご報告させていただきます。

伝統ある田高の復活に向けて

都立田園調布高等学校長　第17代　桑原　洋

昨年度は、月日会の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

十二月には岡山で刀鍛冶をしている宗近兵衛様に進路講演会の講師をお願いし、仕事の話をしていただきました。多数の生徒が参加し、仕事に関する様々なお話を聞かせていただきました。また、他にも後輩のために、時間を都合しても良いという、有難いお申し出をいただいております。

皆様のご支援により、三月に卒業した生徒の中には東京大学理科一類に現役合格したもの、さらに中堅校への入学者も増えるなど、進学実績が上がりました。今年度はさらに、学習方法・学習習慣の定着を目標に学習指導に力を入れて参ります。

今年度の入学式は、四月七日に、被災地からの生徒も含め、二四〇名の新入生を迎え無事終了いたしました。入学式に参列した東京都教育委員会の方から、生徒が式の最中に、立派に行動していたことを褒めていただきました。

生徒の力をさらに伸長することが教職員の使命だと考えております。そのために、教職員が一致して取り組みたいと考えております。

月日会の皆様にはこれまで以上にご支援をお願いすることもあるかと思います。お時間のある際には、田園調布高等学校へ来ていただき、母校の更なる発展のため、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

来年11月に月日会60周年記念総会を開催

来年（平成24年）秋に「月日会60周年記念総会」を開催いたします。

品川プリンスホテルでの「50周年記念総会」、東京工業大学百年記念館での「55周年記念総会」には多くの会員・来賓が来場され和やかに懇親を深めることができました。

「60周年記念総会」も、これまでの総会同様各世代に亘る多くの会員の皆さまにより、同世代の仲間や世代を超えた先輩後輩が、母校の辿ってきた道筋を振り返るとともに、現在そしてこれからの母校の姿を語り合う場にしたいと考えています。

また、部活動ＯＢの繋がりもこの場で確認できるのではないかと期待しています。

現時点での予定は次のとおりです。詳細は確定次第（11月頃）ホームページに掲載します。

日時　平成24年11月18日（日）午後1時から
会場　品川駅前のホテルを予定しています。

年会費ご納入ありがとうございます。今年度もよろしくお願いします。

会員の皆様には、月日会活動にご理解をいただき感謝しております。この会報を皆様にお届けできるのも皆様からの年会費・ご寄付のおかげです。ご協力を本当にありがとうございます。

同窓の絆
更なる田高への応援を

月日会名誉会長（6期）
財団法人田園調布　理事長
田中　博隆

月日会60周年に向かっての新たな船出を願い、昨秋紙上総会を開催し、新会長に19期生の鍵和田幹夫さんを推薦させていただき、ご承認下さいまして有難うございました。

新組織の役員の皆様には、同窓の絆を大切に、月日会の発展に尽くして下さる事を期待申し上げております。

私も卒業以来53年間月日会活動に携わってきました。月日会会報創刊号の編集から始まり、名簿発行、周年総会の開催、母校の周年事業への支援、更に財団法人田園調布とともに地域支援活動等をやって参りました。体育館センターサークルのデザイン、校旗贈呈、桐の木植樹、校歌ＣＤの製作は今でも心に残る思い出の事業です。そして、平成21年秋の母校60周年記念総会は、「母校を思う強い気持ち」で応援させていただきました。

私が、故家入正男元会長（1期生）から引き継ぎ、月日会会長として長い道のりを歩いてこられましたのも月日会会員の皆様と、幹事の皆様のお力添えがあったことと、深く感謝を申し上げております。

「ありがとうございました」

月日会名誉会長、財団法人田園調布理事長として、これからも夢を持って、月日会とともに学校、ＰＴＡ、清流会（元ＰＴＡの会）に尽くしてまいりたいと存じます。

今春六十二期生　二四〇名入学

入学式に参列して

第62期の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが入学された4月7日は、東日本大震災の記憶もまだ新しい、少し肌寒い春の日でしたね。それぞれに様々な思いを抱いての第一歩だったのではないでしょうか。

新入生の皆さんの少し緊張したような様子や、保護者の皆様の子供達を見守る温かい眼差しを拝見し、これからの三年間が想い出深いすばらしい日々となりますようにと願い、また、そのために月日会として応援していくことができれば、との思いを新たにした一日でした。

20期　源田真由美

62期生入学式

59期生卒業式

東日本大震災の影響により9日遅れて、平成23年3月21日、59期生の卒業式が粛々と執り行われました。

卒業生の言葉には、高校生活の充実感や新たな門出に向けた強い意志が込められ、とても頼もしく感じられました。最後に体育館の壁に映し出された「3年間の歩み」は、列席者全員に懐かしく映ったことでしょう。

59期生の皆様、ご活躍をお祈りしております。

24期　山本　順子

多摩

夕日を見ていると不思議と田高の生徒ホールの裏を思い出す。

茜色の空が多摩川を越えて遠くの山々を浮き立たせ、季節は、茜色のキャンバスに、形の違う雲を描いていた。その雲の絵は、多感な時期の私の心を和ませるものだった。

一年生の春、中学生まで得意だった数学で「赤点」に近い点を取って力が抜け、うつろに、金網のフェンスの向こうを見ていると、クラスメイトが私に「俺のほうが、もっと悪い」といってくれた時。

二年生の夏、三年生に呼び出され「生意気だ」と襟首をつかまれて、金網に押し付けられた時、先手必勝とばかり腕を払って鉄拳をふるった時。

三年生の卒業間近の冬の日、「待っている」と呼び出され、私の方を見ずに金網の向こうを眺めながら、三年間の想いを告げられた時。

いつもフェンスの向こうには、あの夕日があった。

最近同窓会の関係で田高に行く機会が多くなった。そこで、もう一度、あの夕日を見てみたい。しかし、そこがどこだったのか、建物が変わってよくわからない。残念な気がする。しかし、田高の門をくぐると四十余年前の私の青春とあの日の夕日が頭の中に戻ってくる。

15期　新井　國貴

新卒業生　五十九期生

二百二十五名

田高卒業生は延一万五千九百四十九名となりました。連絡可能月日会会員は、約一万二千名です。

幹事会便り

幹事長　熊谷和巳（38期）

平成22年度活動は以下の通りです。

幹事会活動

○入学式出席（4月7日）校章バッジ贈呈
○幹事会（6回）
○会計委員会（3回）
○会報委員会（4回）
○会報31号発行（7月）
○ぼろにあ祭参加（9月18日、19日）
○卒業式予行（3月11日）卒業生へ月日会の説明をしました。説明の後震災が発生しましたが、校舎・生徒に大きな被害は無く、何名かの生徒が学校に宿泊しました。翌3月12日に全員帰宅する事ができました。東日本大震災発生により3月12日の卒業式は延期
○卒業式出席（3月21日）卒業証書ホルダー贈呈

母校協力活動

○体育祭（6月5日）応援

ＰＴＡ協力活動

○ぼろにあ祭バザー実行委員会参加（7月5日）
○ＰＴＡ手作り講習会参加（8月25日）
○ぼろにあ祭バザー協力（9月19日）売り子役で手伝い
○ぼろにあ祭バザー反省会参加（10月16日）

財団法人田園調布協力活動

○財団法人田園調布評議員会（6月19日、3月19日）
○財団法人田園調布中学生サッカー大会協力（11月23日）
○財団法人田園調布　パソコン講習会協力（秋期：10月～11月）
○財団法人田園調布　手話講習会協力（1月22日）
○財団法人田園調布小学生野球大会協力（2月27日）
○財団法人田園調布グラウンド抽選立会い、12回（毎月第1水曜日）

清流会協力活動

○清流会総会参加（5月21日）
○清流会手芸講習会参加（9月4日）
○清流会研修旅行参加（12月5日）
○清流会新年会参加（2月4日）

平成22年度も母校及び田高関連の各団体と協力の下、幅広く活動する事が出来ました。本年度は月日会60周年に向けた活動を始めています、1ページ記事に案内の通り、会員の皆様の多大なるご支援を宜しくお願い致します。

平成二十三年度月日会役員

役職	氏名	期
名誉会長	田中　博隆	（6期）
会長	鍵和田幹夫	（19期）
副会長	源田真由美	（20期）
（兼会計委員長）		
副会長	山本　順子	（24期）
（兼名簿委員長）		
副会長	小西　正晃	（37期）
（兼会報委員長）		
幹事長	熊谷　和巳	（38期）
副幹事長	浅田　裕一	（45期）
会計監査	干川　勝重	（6期）
会計監査	簡　敏	（9期）
情報委員長	山田　浩一	（45期）
常任幹事	金子喜一郎	（7期）
常任幹事	鈴木　洋子	（11期）
常任幹事	初音みね子	（14期）
常任幹事	新井　國貴	（15期）
常任幹事	重谷麻奈美	（52期）
常任幹事	神庭あゆみ	（53期）
常任幹事	溝口　直美	（53期）
書記	山梨　裕加	（56期）
書記	蛭田　悠真	（56期）
幹事	染野美代子	（1期）
幹事	家入　國子	（3期）
幹事	寺久保　勲	（4期）
幹事	千本　俊江	（15期）
幹事	塚田まなみ	（53期）
幹事	永島　至誠	（56期）
幹事	永峰　康裕	（56期）
幹事	松永　泰祉	（56期）
幹事	鍋田　尚利	（56期）
幹事	毎熊さゆり	（56期）
幹事	後藤　史典	（57期）
幹事	根岸　美幸	（57期）
幹事	小安悠衣香	（59期）
幹事	大谷　恵子	（59期）
幹事	内山　藍	（59期）
幹事	大川　拓也	（59期）

財団法人田園調布月日会関係役員

理事長	田中　博隆	（6期）
理事	鍵和田幹夫	（19期）
監事	簡　敏	（9期）
評議員	金子喜一郎	（7期）
評議員	新井　國貴	（15期）
評議員	源田真由美	（20期）
評議員	山本　順子	（24期）
評議員	小西　正晃	（37期）
評議員	熊谷　和巳	（38期）
評議員	浅田　裕一	（45期）
評議員	山田　浩一	（45期）
評議員	重谷麻奈美	（52期）
評議員	山梨　裕加	（56期）
評議員	蛭田　悠真	（56期）

月日会新名簿（平成24年10月発行）の申し込みを受け付けます

60周年記念号として、平成24年秋の発行を目指し、編集作業に着手しました。会報に「調査カード」を同封しておりますので、ご返送くださいますようお願いいたします。ご提供いただいた情報は、月日会の活動（同期会等を含む）のみに利用させていただきます。

名簿の購入をご予約いただきました会員の皆様と、協賛金、広告のお申し出をいただきました会員の皆様には、改めてお礼状と払込用紙をお送りいたします。

会報に同封の年会費・ご寄付の払込用紙とは別になりますので、お間違えになりませんようお願いいたします。

月日会60周年記念事業の一環として、名簿発行にご理解ご支援をお願い申し上げます。

新名簿は予約のみの販売となりますので、ぜひこの機会をご利用いただき、同窓生のネットワーク作りにご活用くださいますように。

名簿委員長　24期　山本　順子

ぼろにあ祭に参加

平成22年9月18・19日の2日間、第46回ぼろにあ祭が開催されました。月日会では昔遊びコーナーや田園調布高校の懐かしい写真の展示、プリクラの配布などを行いました。プリクラを希望された方には田園調布高校を訪れた証として校章の入った紙にプリクラを1枚貼って頂きました。3年前から始めて、今ではたくさんのプリクラが貼られており、大変嬉しく思います。昔遊びコーナーではベーゴマやけん玉などの年輩の方にとって懐かしいものから、今から30年程前に出たファミリーコンピュータなど幅広い世代の方々から興味を持って頂けるものを展示し、在校生や遊びに来てくださったお子様などたくさんの方々が楽しんでいました。

56期　蛭田　悠真

田高「ぽろにあ祭」第25回「ふれあいバザー」

9月18日（日）10時～12時（予定　品物なくなり次第終了）

献品をお願いいたします　8月末日までに　月日会事務局宛

売上金は、財団法人田園調布に寄付され、学校支援・地域支援（大田区社会福祉事業への寄付ほか）の活動に使わせていただきます。

今年のぽろにあ祭は9月18日（日）に開催されます。

新幹事よりひとこと

59期新幹事

新幹事さんコメント

内山　藍
①バレーボール
②バレー・映画鑑賞（洋画）
③翻訳家的な。チャリで日本一周
④A型
⑤ありがとう
⑥納豆ごはん・お肉!!（焼き肉・しゃぶしゃぶ・すき焼き）・チーズ
⑦虫（とぶ系）

大川　拓也
①水泳部
②自転車、飛行機写真
③航空自衛官
④B型
⑤That others may live
⑥甘いもの
⑦虫

大谷　恵子
①写真部
②舞台鑑賞、お笑い、ダンス
③世界一周
④O型
⑤Show must go on
⑥甘いもの
⑦虫

小安悠衣香
①写真部
②ダンス、写真、芸術（舞台）鑑賞、歌うこと
③舞台に関わるとか
④A型
⑤努力は人を裏切らない
⑥パスタ系、甘いもの、きらいな食べ物はあまりないです。
⑦虫！　絶叫マシーン！

近況お便り ありがとう

1期　宮田　俊雄
田中前会長、永年の地道なご努力が月日会の大きな発展に実を結びました。ありがとうございました。

1期　中根　憲一
76歳、ますます元気です。俳句にこっています。（一句）・・・花冷えや　遠き昭和のカリー食う）

2期　井上　周子
昨年11月同期会に出席（大分県より）しまして、夢のようなひとときを過ごしました。

3期　石川　栄子
会長職を長い間ご苦労様でした。私共もお陰さまで何とか生きております。お会いできる日を楽しみにしています。

6期　鵜飼　成子
年相応に元気です。田中会長、長年にわたり田高発展の為にご苦労様でした。

6期　南雲　昇
遅くなりました。6期生ですが同期の方々と約12～13名で誘い合せて時々旅行をしております。田中会長長い間本当にご苦労様でした。ひんぱんにクラス会をやっています。

7期　野口　圭子
いつもお世話して下さり感謝しております。7月に7期生の古希会が催され、懐かしゅうございました。

8期　福田　紀子
会報、どうもありがとうございました。大変なつかしく、うれしく拝読させていただきました。私はこれというほどの事は何もなく日々平穏に暮らしております。月日会の益々のご活躍を心からお祈り申し上げます。

8期　田口　恵子
宮城県（紀伊国屋、ジュンク堂）、岩手県、福島県書店で販売。2009年10月「奥のほそ道を歩く」を出版。歴史春秋出版0242－26－6567

9期　岩崎　衛
年相応の故障を抱えつつ、元気に過ごしております。

10期　小谷　明子
暑さの盛り、ご自愛下さい。

11期　小濃　咲子
お店を続けています。定年制がないので主人と私のどちらかがダウンするまで続けたいです。

13期　磯部　和子
来年　桐の花を見に行かれればと思っています。

14期　高城　裕之
時間にしばられなくなって3年目。
[www.justmystage.com/home/idolersroom/]左記のHPご覧下さい。のんびり暮らしています。

14期　長谷川正春
昨年12月に水泳部第14期同期会を行い、男子7名、女子1名が集い、若き日の話で盛り上がりました。望みは母校のプールで泳ぐ事でした。

15期　太田　武二
お陰さまで家族一同元気でやっています

17期　保坂　誠
本年6月5日に17期の同期会が開催され、70名ほど集まりました。

19期　森井　秀樹
同窓会の各種活動が大変でしょうが、頑張ってください。

21期　中神　章弘
都庁から派遣されて総務省の外郭団体救急振興財団に勤めています。来年2月に全国の救急隊員のためのシンポジウムを開きます。

23期　櫻井　裕子
22年4月、姪が田高に入学しました。

26期　高野　友子
夫、息子（大4）、娘（高3）と共に元気にしております。都立高の統廃合が進む中、田高が健在で嬉しく思っています。

26期　眼龍　祥子
息子がいよいよ大学受験です。端で見ている私だけがヤキモキしていますが、本人はいたってマイペース。30数年前の母の気持ちが今になって分かります。

49期　根本　淳一
一般自動車整備士を目指して勉強に励んでいます。

52期　根本　和哉
100年に一度と言われる大不況の中、神大院卒で無事就職できました。

平成22年度会費払込用紙の通信欄にご記入いただいた近況を抜粋して掲載いたしました。
来年の会報にも皆様の近況を掲載していきたいと思いますので、払込用紙の通信欄に是非ご記入をお願いいたします。
会報編集委員会

月日会へのご寄付とバザー献品をありがとうございました（平成22年度分）

現教職員
笹川耕太郎

元教職員
前田　徹
石川　直弘
中野　英雄
新野　京子
能村　けい
森本　静子

元PTA
増田　ヒサ
山道　寿子
永久保初栄
今井まり子
由比　邦枝
田中　克美
糸瀬　敬一
石塚　久子
岡田美枝子
岡本ひろみ

1期生
中根　憲一
井手　敏雄
西山　正
牧野　恵里
常盤　彦吉
河内　迪子
小原将司郎
村山　久枝
本多喜太郎

2期生
森　章
高緑　正
齋藤　登
深井　福三
清水　博

3期生
須藤　清
家入　圀子
春山　泰男

4期生
千田　康男
寺久保　勲

5期生
網井　照高
志村　年弘
飯泉　育雄
浦井　登代
森　克子

6期生
竹原　智明
稲生諏訪子
稲垣　嘉昭
山本　智幸
田中　博隆
金子　隆
干川　勝重
鵜飼　成子
浅野　京子
南雲　昇
岡島　邦夫

7期生
金子喜一郎
簡　玲子
野口　圭子
高田　誠

8期生
夏目　達也
岩野　光邦
大蔵　正人
後藤喜佐子
田中　恭子
中村　幸夫

9期生
簡　敏
澤村　直子
大島　桂子
山田　勇
堀越　節子

10期生
新井　和枝
平沢　恂子
中田　泰雄
塩出　敏彦
石井七保美
藤井　真行
矢口　雅章

11期生
吾田　千萱
鈴木　洋子
本間　亢司
森田　真弓
寺山　佑枝
佐藤　東樹
直井　幹雄
麻尾　俊忠
川井　永一
今井　信一
伊東　浩子
難波善三郎
菊池　靖子
相田　純孝

12期生
長澤　伸
藤谷　之康
川嶋　透

13期生
磯部　和子
安藤日出男
小林　正

14期生
高城　裕之
初音みね子
高橋二美子
高橋　享一
石垣　篤
長谷川正春
飯沼　和男
青山　有三
能登　末之

15期生
沢間　譲治
野口美江子
片岡　護
芹沢　豊
望月　正
伊東富士雄
廣田　愛子
新井　國貴
浅利　篤
千本　俊江
横山　彰

16期生
付岡　博子
伊藤　由政
山崎　信雄
篠原　哲夫
平林　徹昭

17期生
布施　章
大石　良子
角田　利英
林　雅一
野田　洋子
柳　豊純
保坂　誠
大木本一夫

18期生
今井　一友
茂澤　清和
野瀬　敬志

19期生
鍵和田幹夫
青木　幸子
國分　裕二
宮尾　通子
安田由紀子
山浦　恵子
小室　謙二
森井　秀樹
林　洋子

20期生
南部　明
源田真由美
大久保昇一

21期生
中神　章弘

22期生
大神　基也
黒須　知二
小林　雅人
西　康男

23期生
櫻井　裕子
宮地　一雄

24期生
山本　順子

25期生
中村　摂子
磯邉　富雄

26期生
高野　友子
眼龍　祥子

27期生
甲田　浩子
相田　京子

28期生
渡辺　聡哉

30期生
服部　哲也

31期生
竹尾　正

32期生
安藤　正道
市原　朋宏
河西加代子
溝尾　大資

33期生
中澤　晃子
佐藤　恒一
前田　遼子
波田野　宏
林　美喜

34期生
岩塚　究

35期生
堀口　泰志
石鍋　斉

37期生
小西　正晃

38期生
新井　秀樹
熊谷　和巳
加藤　由枝

44期生
林　隆三

45期生
浅田　裕一
山田　浩一

47期生
源田　和樹

52期生
島内　智史

54期生
清田圭太郎

55期生
渡邉　裕介

56期生
秦　英里香

58期生
山口　智浩
中野　愉太

平成二十二年度会計報告

□平成二十二年度分の月日会収支は表記の通り決算致しましたのでご報告申し上げます。
会計委員長　源田真由美（20期）

□平成二十二年度の会計報告について適法かつ妥当であることを認めます。
会計監査　干川　勝重（6期）
会計監査　簡　敏（9期）

平成22年度　会計報告

収入		支出	
前年度繰越金	1,923,208	幹事会費	384,385
		通信事務費	49,144
卒業生入会金	1,150,000	会報編集費	1,835,736
賛助会員入会金	－	名簿編集費	106,790
銀行利息等	458	周年事業積立金	300,000
年会費	1,328,000	ぼろにあ祭参加費	52,578
寄付	560,970	卒業生対策費	120,020
桐の木募金	110,237	新入生対策費	68,775
名簿売上	5,000	(財)田園調布寄付	50,000
		情報委員会費	129,659
		雑費	－
		桐の木募金積立金	110,237
22年度収入計	3,154,665	22年度支出計	3,207,324
		次年度繰越金	1,870,549
合計	5,077,873	合計	5,077,873

平成二十三年度予算

□五月七日（土）の幹事会にて承認されました。

平成23年度　予算

収入		支出	
前年度繰越金	1,870,549	幹事会費	400,000
		通信事務費	50,000
		会報編集費	1,800,000
卒業生入会金	1,115,000	名簿編集費	105,000
銀行利息等	251	周年事業積立金	300,000
年会費	1,400,000	ぼろにあ祭参加費	70,000
寄付	600,000	卒業生対策費	140,000
桐の木募金	50,000	新入生対策費	70,000
		(財)田園調布寄付	50,000
		情報委員会費	100,000
		予備費	20,000
		桐の木募金積立金	50,000
23年度収入計	3,165,251	23年度支出計	3,155,000
		次年度繰越金	1,880,800
合計	5,035,800	合計	5,035,800

財団法人田園調布は、新公益法人制度への移行手続きを進めています

財団法人田園調布は、新入生への校歌ＣＤ贈呈及び皆勤賞等の授与、体育祭・合唱祭・クラブ活動への支援など母校の教育活動のサポートや、週末の多摩川グラウンド貸出、パソコン講座、手話講習会や小学生野球大会・中学生サッカー大会等地域社会の教育・文化の発展に寄与するための活動を、長年の間行ってまいりました。

しかしながら、従来の制度は、明治29年の民法制定以来基本的な見直しはされませんでした。また、一部法人による不祥事が続いたことなどもあり、平成20年12月、公益法人制度に関する法律が新たに施行されました。

その法律により、現在の財団法人は平成25年11月30日までに、税制優遇はあるが厳格に公益性を求められる「新公益財団法人」への移行か、課税を原則とする一方、事業活動の制限は緩やかな「一般財団法人」への移行、または「解散」のいずれかを選択しなければならなくなりました。

当法人は、母校への貢献をより強めるために「一般財団法人」への移行を決め、現在、税理士・司法書士等外部専門スタッフの指導を受けながら、移行申請をするための準備を行っています。

現在保有する基本財産は、公益性のある事業のためにしか使用できないために事業内容の見直しや既存事業の活性化を行わなければなりません。また、新制度に即した組織再編や活動を支える事務機能の拡充等、課題は多くありますが、ひとつひとつ解決しながら作業を進めています。

来年になれば、新たな財団の姿を紹介することができます。もう暫くお待ちください。

財団法人田園調布理事　鍵和田幹夫

桐の木

月日会50周年の際に行った桐の木募金を機に、皆様方からご協力いただいております。

現在、田高の桐の木は11本になり、4月末から5月にかけて薄紫の美しい花を咲かせています。

進路状況

59期生の進路

四年制大学	137
短期大学	9
専門学校	28
就職	6
浪人他	45
合計	225

合格者の多い四年制大学（浪人生含む）

日本	20	神奈川	12
法政	9	国士舘	8
帝京	8	東京工科	8
明治学院	8	関東学院	7
東洋	7	明治	6
立正	6		

教職員異動

【転出】

安藤　誠知	（数学）	退職
伊藤　宏文	（数学）	退職
佐藤　浩平	（数学）	農業（定）
塚原　誠	（数学）	退職
粟澤　洋	（化学）	退職
渡辺　愛子	（英語）	第一商業（全）
塩路　愛子	（英語）	広尾（全）
高橋　一範	（保体）	
品川特別支援		
川口　茂子	（養護）	退職
鎌田　純子	（主任）	国際

【転入】

駒場　晃	（数学）	新規
望月　梨衣	（数学）	新規
宮岡　早苗	（数学）	大崎（全）
原木百合子	（数学）	足立工業（全）
長谷川頭太郎	（生物）	
野津田	（全）	
柏木　桃子	（英語）	深沢（全）
相原　弘明	（英語）	都大附属（全）
磯辺　隆之	（保体）	上野（全）
髙嶋　幸子	（養護）	深沢（全）
堀野　孝雄	（美術）	日比谷（全）
平塚乃里子	（係長）	園芸

中学生サッカー大会

11月23日（火）財団法人田園調布杯第７回「中学生サッカー大会」が多摩川グラウンドで開催されました。

グラウンド状態は前日からの強い雨で最悪。サッカー部員や奉仕の生徒を中心にスタッフ全員が必死の整備を行い、１時間30分遅れで８人制の変則ルールによりキックオフ。ボールが水たまりで止まるなど足元が悪い中、各チーム共最後まで全力で戦い、応援をしていました。試合の合間には奉仕の生徒による草刈りや散水設備のテストなども行いました。

19期　鍵和田幹夫

初級パソコン講座

昨年十月中旬より四回にわたり、大田区連携講座として財団法人田園調布の事業の一つである初級パソコン講座（パソコン初心者を対象。）で一昨年度に引き続き月日会として活動支援を行いました。

開催期間中、台風接近により日程がずれてしまうトラブルに見舞われたものの、受講者より在校生並びに当講習会に対し非常に高い評価を頂くことができました。

この活動を通じて月日会は、財団法人における地域貢献並びに学校支援事業の役割の一端を担えたと思います。

45期　山田　浩一

手話講習会

1月22日に開催された財団法人田園調布主催の手話講習会は主に聴覚障害者の社会的立場や、生活面での問題点、巻き込まれやすいトラブル等についての話を聞く事が出来ました。

外見的に聴覚障害者は健聴者と見分けがつかないと言う事を再認識し、その為誤解され易いという問題を抱えているのだと思い知りました。

講演では、障害者だからと消極的な人生を送るのではなく、様々な器具の開発や、情報伝達方法の改良でより広い分野での活躍が可能になっていると知り嬉しく思いました。

9期　簡　敏

小学生野球大会

2月27日（日）に多摩川グラウンドで開催された財団法人田園調布杯「小学生野球大会」も今年で4回目、参加するチームにとっては欠かせない大会となってきました。朝早くから選手や応援のお母さん方の大きな声がグラウンドに響き、終日熱戦が繰り広げられました。

今年も、現役野球部員が審判や優秀選手賞の選定にあたりました。また、表彰式前には野球部員による模範練習も行われ、参加したちびっ子たちは熱心に観戦していました。

19期　鍵和田幹夫

多摩川河川敷清掃活動

例年財団法人田園調布で参加している大田区主催の多摩川河川敷清掃活動は、従来丸子橋からガス橋迄の行程でしたが、多摩川大橋～ガス橋の行程に変更がありました。

二百八十名以上の大所帯で参加になる予定でしたが、残念な事に前日夜に大田区環境保全課より連絡が有り、六月十二日（日）は河川敷コンディション不良の為、中止となりました。

事前にご協力頂きました方々には申し訳ない思いですが、来年再チャレンジしたいと思いますのでその際はよろしくお願いします。

38期　熊谷　和巳

各事業の開催案内は、今後月日会ホームページで随時掲載する予定です。

お知らせください！

会報を読んでのご意見、ご感想がありましたらご連絡ください。　また、同期会開催案内、寄稿、住所変更等についてのお問い合わせも下記にお願いいたします。尚、お寄せ頂いた情報は掲載できないこともございますのでご了承下さい。

住所：〒145－0062　大田区北千束3－24－1－409
月日会事務局　宛　Fax：03－3748－6780
HP：http://www.tsukihikai.gr.jp/

編集後記

東日本大震災や原子力発電所の事故等の影響により、社会が大きく変わっています。被災された皆様に心よりお祈り申し上げます。

月日会では、昨年十月に会長が二十二年ぶりの交代となりました。新体制のもと、来年度の月日会六十周年に向けて、田高ともどもさらなる発展を遂げるべく努力しております。皆様方のあたたかいご支援・ご協力を引き続きお願いいたします。

また、幹事として活動をお手伝いいただける方も募集しております。興味のある方は事務局にお問い合わせください。今後も田高をはじめ財団法人田園調布、ＰＴＡ、清流会等諸団体と協力して積極的に活動していきたいと思います。皆様よろしくお願いいたします。

37期　小西　正晃